



2026 年 7 月 24 日

各 位

会社名 株式会社情報戦略テクノロジー
代表者名 代表取締役社長 高 井 淳
(コード番号：155A 東証グロース市場)
問合せ先 取 締 役 瀧 本 崇
(TEL 03-6277-3461)

AWS 主催「合同 AI-DLC Unicorn Gym」への参加 及び AWS 公式ブログ掲載のお知らせ
～2 月・3 月の社内実施に続き、「他社合同開催」へ参加～

株式会社情報戦略テクノロジー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：高井 淳、以下「当社」）は、アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社（以下「AWS ジャパン」）が 2026 年 6 月 11 日（木）・12 日（金）に主催した「9 社合同 AI-DLC Unicorn Gym」に当社エンジニアチームが参加いたしましたことをお知らせいたします。

また、本イベントにおける取り組みと成果が、AWS ジャパンの公式技術ブログ「Amazon Web Services ブログ」にて紹介されましたので、併せてご報告いたします。



記

■ 「AI-DLC Unicorn Gym」及び合同開催の概要

「AI-DLC Unicorn Gym」は、AI を開発プロセスの中心に据え、課題定義（Inception）から高速実装（Construction）、運用（Operation）までを AI エージェントと共に進める「AI 駆動開発ライフサイクル（AI-DLC）」を体感・実践する実践型ワークショップです。

今回の合同開催には、先進的な AI 活用を目指す企業 9 社 11 チーム（約 90 名）が集結。参加各社が「自社の実際の業務課題」を持ち込み、AI エージェントツール（Kiro、Claude Code 等）を活用して、2 日間で仕様策定からプロトタイプ構築、デプロイ・成果発表までを駆け抜けました。

- AWS 公式ブログ掲載記事：

『9 社合同 AI-DLC Unicorn Gym：AI と作った 2 日間で見えた、「書く」から「決める」への転換』

URL: <https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/joint-ai-dlc-unicorn-gym-202606/>



■参画の背景：2～3月の社内先行実施から「社外・他社合同の場」へ

当社は「AI カンパニー」として、AI 駆動開発の組織的浸透を最優先課題として推進してまいりました。その一環として、2026年2月及び3月の計2回にわたり、AWS ジャパンの協力のもと社内向け「AI-DLC Unicorn Gym」を実施し、自社エンジニアのスキル底上げとプロセス改革を進めてまいりました。

今回は、他社エンジニアとの知見交流を通じて自社の取り組みをさらに深めるべく、社外合同開催への参加を決定いたしました。

■当社チームの取り組み

1. 「コードを書く」から「仕様と AI の提案を決定する」へのパラダイムシフト

社内実施を通じて日常的に AI エージェントを活用していた当社チームは、開発のボトルネックとなりがちな仕様策定やコード生成を AI と対話しながら超高速で進行。「人間が意思決定に集中する」次世代の開発ワークフローを実践しました。

2. これまでの実践で得たノウハウの活用

2～3月の社内実施で得たフィードバックや「Kiro」「Claude Code」等の効果的なプロンプト設計・アーキテクチャ選定のノウハウを活かし、2日間という限られた時間内でプロトタイプを構築しました。

3. 「0 次 LAB」ソリューションとの深い親和性

当社の主力を担う「0 次 LAB（専門ノウハウをチームで提供するソリューション）」で培った、不確実性の高い課題に対して「何を作るべきか」を素早く見極める姿勢が、AI-DLC の Inception フェーズと親和性が高いことを改めて確認しました。

■今後の展望：DX 内製支援サービスへの還元

当社は、今回の「9 社合同 AI-DLC Unicorn Gym」で得られた知見や他社との交流から得た気づきを、当社の各事業へ反映してまいります。

クライアント企業の DX 推進において、従来の受託開発では実現できなかった「圧倒的な開発スピード」と「ビジネス変化への柔軟な適応力」を提供し、日本企業の DX 内製化及び AI 変革（AX）を強力に牽引してまいります。

■会社概要

【株式会社情報戦略テクノロジー】

会社名：株式会社情報戦略テクノロジー（東証グロス・155A）

代表者：代表取締役社長 高井 淳

所在地：東京都渋谷区恵比寿四丁目 20 番 3 号 恵比寿ガーデンプレイスタワー15F

電話：03-6277-3461

事業内容：大手企業向け DX 内製支援サービス等

URL：<https://www.is-tech.co.jp/>

以上